

令和8年度予算案のEBPM「児童福祉実態調査費（全国ひとり親世帯等調査）」

課題データ

子育てと生計の担い手という二重の役割を一人で担うひとり親世帯等は、住居、収入、こどもの養育などの様々な面で困難に直面することになるため、ひとり親世帯等が置かれている生活の実態等の動向の把握が求められている。

事業

児童福祉実態調査費（全国ひとり親世帯等調査）

令和8年度当初予算案：2.4億円

全国ひとり親世帯等調査は、全国の母子世帯、父子世帯及び養育者世帯を対象として実施され、その調査結果については、ひとり親世帯等の生活の実態等の基礎データとして、ひとり親世帯等に係る施策や制度の企画・立案に活用されている。
本調査は、都道府県等を通じ福祉事務所に調査票を配布、回収しこども家庭庁においてとりまとめ、結果を公表する。

※アウトプット、アウトカムの（）内は直近の実績値

アウトプット

委託を受けた地方公共団体等が調査を実施する地区数
2026年度 14,800地区

短期 アウトカム

回収率（集客客体数／調査客体数）
2026年度 60%

中期 アウトカム

—

長期 アウトカム

ひとり親世帯等の福祉対策の充実

EBPM指標

目標

こども・若者の権利保障と
その視点の尊重、意見聴取と対話

良好な成育環境の提供

すべてのこども・若者の
健やかな成長の保障

結婚・子育てに関する希望の形成と
その実現を阻む隘路の打破

こども・若者の幸福な生活 / 少子化トレンドを大きく変える / 未来を担う人材の育み